

～教養学科部局活性化事業～

公開講座

「キリスト教文化における シンボリズムの変遷について」

～中世ヨーロッパの建築、修辞学との関連～

講師：佐伯 茂樹氏

2014年10月8日（水）15：00～

K-201

★佐伯 茂樹 プロフィール

早稲田大学卒業後、東京藝術大学でトロンボーンを学ぶ。現在は、ピリオド楽器を中心に演奏活動をしており、古典アルトトロンボーンその他、日本で数少ないオフィクレイド奏者としても定評があり、バッハ・コレギウム・ジャパンやクラシカルプレイヤーズ東京などに参加。一方、数多くの音楽雑誌で記事や論文を執筆。読売日本交響楽団、東京都交響楽団、NHK 交響楽団の機関誌で連載を執筆したり、コンサートの監修も手掛けている。管楽器全般の研究でも知られており、放送大学の講義ビデオに出演。東京藝術大学古楽科、浜松市楽器博物館、福岡古楽音楽祭、日本ワーグナー協会などの招きで講演会をおこなった。2012年には、NHK テレビの「N響アワー」にゲスト出演し、演奏や解説をおこなった。2008年4月から2012年4月まで東京藝術大学大学院で楽曲と楽器に関する講義を担当。2012年には同大古楽器科で集中講義を担当した。『バンドジャーナル』（音楽之友社）でディスクレビューとコラムを担当。『レコード芸術』（音楽之友社）で月評を担当。レコードアカデミー賞選定委員。



著書に『名曲の暗号』『オーケストラの中の管楽器考現学 名曲の常識非常識』（音楽之友社）『金管楽器 演奏の新理論』『木管楽器 演奏の新理論』『管楽器おもしろ雑学事典』（ヤマハミュージックメディア）『カラー図解 オーケストラの世界』『カラー図解 吹奏楽の世界』『カラー図解 楽器の歴史』（河出書房新社）『オーケストラ・吹奏楽が楽しくわかる楽器の図鑑（全5巻）』（小峰書店）などがある。『リテラルカール古楽器ガイド』（マーキュリー）日本語版監修。